

主日礼拝

2025年07月27日
午前10時30分

前奏 「アダージョ」 (F.ペーターズ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「イスラエルの神、万軍の主はこう言われる。お前たちの道と行いを正せ。そうすれば、わたしはお前たちをこの所に住まわせる。主の神殿、主の神殿、主の神殿という、むなしい言葉に依り頼んではならない。この所で、お前たちの道と行いを正し、お互いの間に正義を行い、寄留の外国人、孤児、寡婦を虐げず、無実の人の血を流さず、異教の神々に従うことなく、自ら災いを招いてはならない。」

(エレミヤ書 7:3~6)

頌栄 27 「父・子・聖霊」

ち ち 子 せ い れ い の ひ と り の 主 よー、 さ か え と ち

か ら は た ー だ 主 に あ れ ー、 と ー こ し え ま で ー。

ア ー メ ン。

交読詩編 119:113~117

司式者：心の分かれている者をわたしは憎みます。

会衆：あなたの律法を愛します。

司式者：あなたはわたしの隠れが、わたしの盾

会衆：御言葉^{はか}をわたしは待ち望みます。

司式者：悪事を謀る者よ、わたしを離れよ。

会衆：わたしはわたしの神の戒め^{いまし}を守る。

司式者：あなたの仰せによりすがらせ

命を得させてください。

会衆：わたしの望みを裏切らないでください。

司式者：わたしを支えてください

会衆：そうすればわたしは救われます。

一同：いつもあなたの掟に目を注ぎます。

賛美 207-1,2 「ほめよ主を」

We the Lord's people
詞：John E. Bowers, 1923-

DECATUR PLACE
曲：Richard W. Dirksen, 1921-2003

1 ほめよ主を、われら主のたみ、
2 このいえで われらは憩う。
うたごえ ところあ さいし と しーて
さ け じ こ ろ、 ま な び の 場 よ。
主 は わ れ ら を さ い し と しーて
ど ん な ひ と も む か え い れ ー る
ま ね か れ る。
主 の い え よ。

1 ほめよ主を、われら主の民、 歌声と心合わせ。 主はわれらを祭司として 招かれる。	2 この家で われらは憩う。 避けどころ、学びの場よ。 どんな人も迎え入れる 主の家よ。
---	---

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、 キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、
主 よ あ わ れ み を。 主 よ あ わ れ み を。
キ リ エ ・ エ レ - イ ソ ン。
主 よ、あ わ れ - み を。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン

主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

聖書 マタイによる福音書 7: 15~23

新約(新共同訳)P12

15「偽預言者を警戒しなさい。彼らは羊の皮を身にまわってあなたがたのところに来るが、その内側は貪欲な狼である。16あなたがたは、その実で彼らを見分ける。茨からぶどうが、あざみからいちじくが採れるだろうか。17すべて良い木は良い実を結び、悪い木は悪い実を結び。18良い木が悪い実を結ぶことはなく、また、悪い木が良い実を結ぶこともできない。19良い実を結ばない木はみな、切り倒されて火に投げ込まれる。20このように、あなたがたはその実で彼らを見分ける。」

21「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。22かの日には、大勢の者がわたしに、『主よ、主よ、わたしたちは御名によって預言し、御名によって悪霊を追い出し、御名によって奇跡をいろいろ行っただけではありませんか』と言うであろう。23そのとき、わたしはきっぱりとこう言おう。『あなたたちのことは全然知らない。不法を働く者ども、わたしから離れ去れ。』」

賛美 444 「気づかせてください」

詞：木原葉子, 1964-

曲：米野みちよ, 1968-



1 気づかせてください、しらずにおかした つみ-を。
 2 うけさせてください、あなたのまことの いのち。▶
 3 あゆませてください、まことのへいわの みち-を。



あたえてください、つみをみつめる ちからを。
 ▶ つかせてください、あたらしいあいの うたを。▶
 かたせてください、ふせいとあくの せかいに。



たたせてください、あのとなりびとのまえに。そして
 ▶ あわせてください、またあのとなりびとに。そして▶
 生かして ください、かみのこどもたちとして。ともに



たっ て くだ さい、主よ、 わたしたちのあいだ に。
 ▶ たっ て くだ さい、主よ、 わたしたちのあいだ に。
 たっ て くだ さい、主よ、 わたしたちのあいだ に。

1 気づかせてください、しらずにおかしたつみを。 2 うけさせてください、あなたの真のいのち。
 与えてください、罪を見つめる力を。 聞かせてください、新しい愛の歌を。
 立たせてください、あの隣り人の前に。 会わせてください、またあの隣り人に。
 そして立つてください、主よ、 そして立つてください、主よ、
 わたしたちの間に。 わたしたちの間に。

3 歩ませてください、真の平和の道を。
 勝たせてください、不正と悪の世界に。
 生かしてください、神の子どもたちとして。
 共に立つてください、主よ、
 わたしたちの間に。

説教 「良い実を結ぶために」

賛美 393 「ここを一つに」

Herz und Herz vereint zusammen
詞：Nikolaus L. von Zinzendorf, 1700-1760

HERZ UND HERZ VEREINT ZUSAMMEN
曲：Bamberg, 1732



1 こころをひとつに 平和を求め、
 2 めぐみの子たちよ、交わり深め、
 3 主はわれらのため 苦しみを受け、
 4 わかたれた民が一つにされる



主をいあいまするとあいをあかがいにくもやそ。
 ▶ あのとともこのたるとあいをあかがいにくもやそ。
 ▶ そのHがくるのをわのれはのそ。



主はぶどこののずなき、われらそとのえきだ。
 ▶ われらもたりがにいまことのあいきを。
 ▶ 主のひかりをうけそのかがやきを



主はわれらのもの、われらの主のもの。
 ▶ つよめ、だいにしめ、その主の。
 ▶ せかいに、その主の、

1 こころを一つに 平和を求め、
 2 恵みの子たちよ、交わり深め、
 3 主はわれらのため 苦しみを受け、
 4 わかたれた民が一つにされる

2 恵みの子たちよ、交わり深め、
 3 主はわれらのため 苦しみを受け、
 4 わかたれた民が一つにされる

派遣

司式者 主は言われます。
 「わたしは誰を遣わすべきか。」

会衆 わたしがここにおります。
 わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン



ア-メン。 ア-メン。ア-メン。

後奏 「プレリュード」 (Th.デュボア)

司式 塩冶 みはる
 説教 向井 希夫牧師
 奏楽 大代 恵

※お立ちになるのが困難な方は、
 座ったままで礼拝をお守り下さい。